

公 表 日

令和 元年 1 1 月 1 4 日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和元年度立野ダムB I M / C I M検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官代理 九州地方整備局 立野ダム工事事務所副所長 金子 勝彦 熊本県熊本市東区下南部1丁目4-73
契約年月日	令和 元年 1 1 月 6 日
契約業者名	令和元年度立野ダムB I M / C I M検討業務東京建設コンサルタント・先端建設技術センター・有明測量開発社設計共同体
契約業者の住所	福岡県福岡市博多区博多駅南2-12-3
契 約 金 額	1 9, 9 6 5, 0 0 0 円 (税込み)
予 定 価 格	1 9, 9 6 5, 0 0 0 円 (税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業 務 場 所	熊本県阿蘇郡南阿蘇村立野地先外
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間 (自)	令和 元年 1 1 月 7 日
履行期間 (至)	令和 2 年 3 月 1 3 日
備考	入札情報サービス (P P I) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 令和元年度立野ダムBIM/CIM検討業務
2. 履行場所 熊本県阿蘇郡南阿蘇村立野地先外
3. 契約の相手方 住 所：福岡市博多区博多駅南2-12-3
会社名：令和元年度立野ダムBIM/CIM検討業務東京建設コンサルタント・先端建設
技術センター・有明測量開発社設計共同体
電 話：092-432-8000
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、立野ダム建設事業の円滑な進捗及び将来の効率的な維持管理を図るため、3次元データや計測データ等を活用して統合モデルを構築し、建設中の施工管理支援及び管理の効率化へ向けた検討を行う業務である。

2) 業務の内容

本業務は、計画準備、統合モデル作成、総括的な施工管理の支援、建設生産・管理システム改善手法検討、CIMモデル作成、維持管理活用検討、基礎資料作成、報告書作成を行うものである。

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を27者が入手（ダウンロード）し、3者から参加表明書が提出され、3者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち3者を技術提案書の提出者として選定し、3者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に「配置予定技術者の資格及び実績等」は最も優れた評価であり、かつ「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「業務理解度」、「実施手順」、「その他」における実施フロー及び工程計画の工夫や有益な代替案として新たな着眼点からの提案が記載されていること、及び特定テーマの「施工時情報を踏まえた維持管理活用検討における留意点」に対する技術提案について提案内容の説得力について、最も優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

立野ダム工事事務所 工事課長